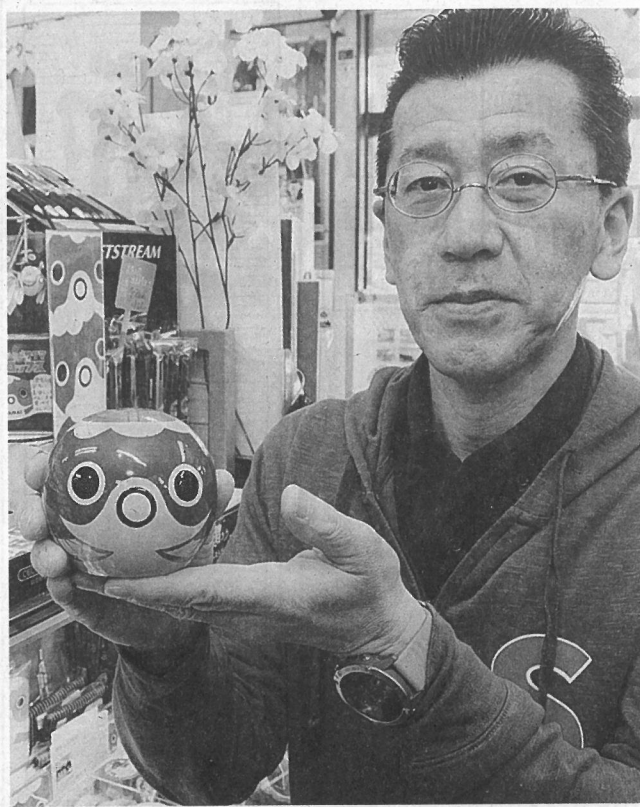


追

全国各地の優れた土産品に

柳井の文具店 大阪賞文堂 大内塗の金魚ちようちんが入賞

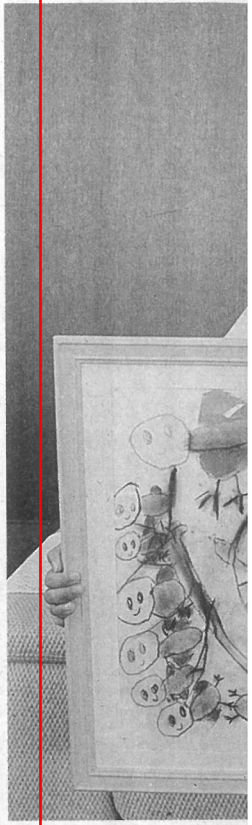
全国各地の優れた土産品を決める「第61回全国推奨観光土産品審査会」(全国観光土産品連盟と日本商工会議所主催)で、柳井市中央3丁目の老舗文具店(有)木阪賞文堂(木阪泰之社長)が、金魚ちようちんを大内塗の伝統技法で造作し、漆塗りで仕上げたオリジナル商品「金魚ちようちん」が、大内塗が、入賞作品35品の一つに選ばれ、民芸部門の日本専門店会連盟理事長賞を受賞した。



全国審査で入賞作品35品の1つに 伝統技法で造作した完全オリジナル

1894年に創業し現在、柳井中央店(市内中央3丁目)と白壁本店(白壁の町並み)で店舗展開している同社。郷土民芸品の金魚ちようちんをモチーフにしたオリジナル文具品などを相次いで商品化する中、「金魚ちようちん」を山口県を代表する伝統技法大内塗の技法で仕上げたら」というコンセプトで企画・開発に踏み切った。

一昨年夏、国の伝統的工芸品「大内塗」作家で知られる谷口幡平氏の



鉄砲撃ちのこんべいさんが、一度に100羽のカモを捕まえるため、縄をくりつけたが、カモと一緒に空を飛んで驚くこんべいさんの

(山口市・谷口漆香堂代表)に制作依頼し、大きさの異なる3種類の漆塗仕上げの手作り商品から造形することで、ブランド力の向上につながった。大内人形は夫婦和合のお守りとき、近年では雛人形としての人気も高い。一方この大内塗の金魚は、各種慶事の際の祝い品や商売繁盛の置物として注文がある。互いの良い所を受け継いだ品であり、これからも新しいものづくりを進めていきたい」と話していた。

この審査会は、観光土産品の育成・発掘を目的に、毎年全国各地の土産品の中から特に優れたものに賞を授与するもの。今回、コロナ禍の中、前回より72社多い、全国419社の企業から766品(前回比97品増)の出品があり、全4部門で入賞作品35品を決めた。

民芸部門には、110品の出品があり、同社が受賞した同理事賞は、経済産業大臣賞や日本商工会議所会頭賞などに次いで6番目の賞となる。

柳井早朝野球連盟(波戸達夫会長)主催の第20回早朝野球リーグ戦が、3月28日に開幕する予定だったが、降雨のため、4月4日に順延となった。

今年のリーグ戦は、昨年と同じく、YBB、ジャイアンツ、YMG、サルワールレハニーズの4チームが出場。試合は総当たりリーグ戦を3回(各チーム全9試合)を実施し、年間チャンピオンを争う。10月17日には、マラソン交流戦を予定している。

第1期の試合日程は次の通り。

- ▼4月4日||サルワールレハニーズ対YMG
- ▼4月11日||ジャイアンツ対サルワールレハニーズ
- ▼4月18日||YMG対YBB
- ▼4月25日||YBB対サルワールレハニーズ
- ▼5月9日||YMG対ジャイアンツ
- ▼5月16日||YBB対ジャイアンツ

【YBB】
 ◎監督||河野賢
 ◎主将||市川
 ◎選手||永田田浩、田村直登、宇兵衛、平松田年男、浜田仲和義、川崎勇長、川康治、大石井康二、斉藤健、嶋津津貴裕、有国村智幸、大島田周平、埤和幸

【YMG】
 ◎監督||吉永
 ◎主将||国本
 ◎選手||金澤戸隆俊、岡田仁治、星野智淳也、高野一昭裕、濱本直賢太、川尻一和平、山本貴利知、中岡健幸男、林正太

出場4チームの登録選手は次の通り。

大内塗でつくられた完全オリジナルの金魚ちようちんで、制作工程全てが手作業で行われる木阪社長

大内塗は3種類あり、販売価格は、大サイズ(30号)が1万8千円、中サイズ(25号)が1万5千円、小サイズ(21号)が1万2千円。いずれも税別。

問い合わせ先は、木阪賞文堂(0820・22・0150)。

【写真】金魚ちようちん「珠」大内塗を手にする木阪社長